

事業概要

令和6年度



社会福祉法人 昭徳会
ケアハウス湯山安立

目 次

1	基本理念・基本方針・行動指針	1
2	施設の概要	2
(1)	施設の概要	2
(2)	事業の目的	2
(3)	規模及び構造	2
3	組織の概要	3
(1)	組織図	3
(2)	職員配置	3
(3)	会議及び委員会	3
4	入居者の状況	4
(1)	認定状況	4
(2)	男女別年齢状況	4
(3)	入居前の居住地	4
5	令和5年度事業報告	5
(1)	令和5年度利用状況一覧	6
(2)	入居者の状況	7
①	各月の延べ入院者数及び延べ入院日数	7
②	疾患別入院状況	7
③	内服薬の変化	7
④	水分摂取の状況	8
⑤	歩行の状況	8
⑥	給食の状況	9
(3)	年間行事実施状況	10
(4)	月間予定表	10
(5)	地域交流事業	11
(6)	会議及び委員会報告	12
(7)	職員研修状況	13
(8)	防災訓練実施状況	14
6	令和5年度決算、令和6年度予算報告	15
7	令和6年度事業計画	16
8	施設内図面	17
9	アクセスマップ	18

1. 基本理念・基本方針・行動指針

社会福祉法人 昭徳会 基本理念

しあわせ 「幸福」

社会福祉法人 昭徳会 基本方針

1. ひとりひとりに、思いやりの心をもって接します
2. ひとりひとりを尊重し、その人に合った支援、援助をします
3. ひとりひとりを大切に、まごころで接します
4. わたしたちは、すべての人の幸福を目指し、たゆみなく援助技術の向上に努めます
5. わたしたちは、お互いに助け合い、よりよい生活ができるよう努めます

社会福祉法人 昭徳会 職員行動指針

第1条 いつも笑顔で接します

第2条 謙虚な姿勢で接します

第3条 同じ目線で向き合います

第4条 いつも前向きに取り組みます

第5条 学ぶ姿勢を持ち続けます

第6条 地域との繋がりを大切にします

第7条 心と身体を大切にします

第8条 小さな気づきを大切にします

第9条 チーム力を高めます

第10条 感謝の気持ちで接します

2. 施設の概要

(1) 施設の概要

〈施設の種別〉

特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護

〈施設の名称及び所在地〉

名 称 ケアハウス湯山安立

所 在 地 〒444-1332

愛知県高浜市湯山町五丁目7番地5

T E L (0566) 54-5011

F A X (0566) 54-5012

E-mail kea-yuyama@syoutokukai.or.jp

〈設置主体及び経営主体〉

社会福祉法人昭徳会

〈事業開始〉

令和2年4月1日

(2) 事業の目的

介護保険法に基づき、要支援1から要介護5の介護認定を受けられたケアハウス入居者を対象として、入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活上のお世話、機能訓練及び療養上のお世話を提供することにより、要介護状態になった場合であっても、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう援助することを目的とする。

(3) 規模及び構造

入居定員：30人

敷地面積：1,218.40 m²

建物延面積：1,817.40 m²

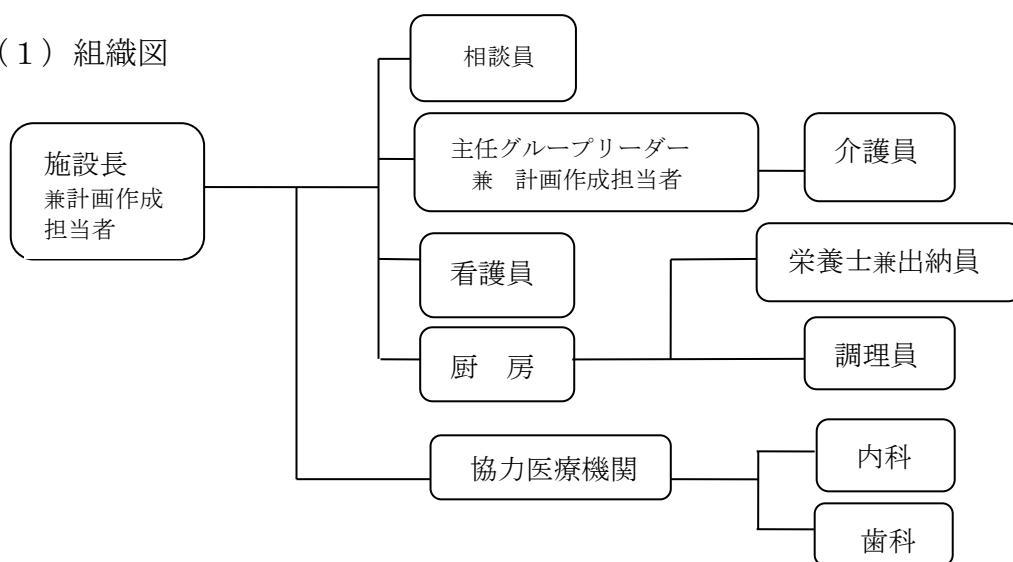
建物構造：鉄筋コンクリート造3階建

付属設備：衛生設備、空調設備、電気設備、消防設備

(土地、建物及び付属設備は高浜市からの賃借物件である)

3. 組織の概要

(1) 組織図



(2) 職員配置

(令和6年4月1日現在)

職務	指定基準 (人)	現員(人)	備考
施設長	1	1	
生活相談員	1	1	
計画作成担当者	1	2	介護員・施設長が兼務
看護員	1	2 (1)	
機能訓練指導員	1	1 (1)	作業療法士 (業務委託)
栄養士	1	1	
介護員	8	9 (2)	
調理員他		4 (4)	栄養士が兼務
計	14	18 (7)	

注：() は契約・パート職員再掲

(3) 会議及び委員会

運営会議	毎月 1回	施設長・主任・サブリーダー・相談員・看護員
フロア会議	毎月 1回	サブリーダー・介護員・看護員
防災委員会	随時	運営会議内において実施
感染症対策委員会	年 2回	施設長・相談員・介護員・看護員・栄養士
事故防止委員会	年 5回	施設長・主任・相談員・介護員・看護員
身体拘束適正化委員会 虐待防止含む(年2回)	年 4回	施設長・相談員・介護員・看護員
介護力向上委員会	毎月 1回	施設長・サブリーダー・介護員・看護員
施設全体会議	年 3回	全職員

4. 入居者の状況

(1) 認定状況

令和6年4月1日現在

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人 数	男	0	2	2	3	1	0	0	8
	女	1	4	8	6	1	2	0	22
	計	1	6	10	9	2	2	0	30
入院者数		0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 男女別年齢状況

令和5年4月1日現在

	男性	女性
90歳以上	4	7
80～89歳	3	14
70～79歳	1	1
60～69歳	0	0
平均年齢	91.2	87.8

最高年齢 : 102歳

最低年齢 : 75歳

全体の平均年齢 : 89.5

(3) 入居前の居住地

	男	女	計	比率 (%)
高浜市	5	15	20	66.6
安城市	1	0	1	6.6
知立市	0	2	2	6.6
碧南市	1	2	3	10
名古屋市	0	1	1	3.3
西尾市	1	0	1	3.3
一宮市	0	1	1	0
小牧市	0	1	1	3.3
合計	8	22	30	

5. 令和5年度 事業報告

1. 「基本理念」等の実践による質の高い福祉サービスの提供

- (1)毎月の『職員行動指針』の具体例を各職員が考え、全員分を掲示して毎日1つずつを唱和しています。自分なりに解釈し行動として言葉にすることで意識が高まるよう実施しました。
- (2)自立支援介護については実践発表会で発表するために資料作成を行いケアの振り返りを行うことができました。発表内容を施設内に掲示し、3月の家族会でも報告しました。
- (3)セントラルキッチン業者との毎月の給食会議を開催し、検食や献立についての意見交換を行いよりよい食の提供に努めました。
- (4)社会貢献活動は継続しており、ペットボトルのキャップ回収は入居者と共に収集場所への提出も行いました。アルミ缶集めやフードドライブ、もったいないプロジェクトなど地域や法人全体で取り組みました。
- (5)福祉避難所の模擬開設訓練を行政と共に11月に実施し体制整備を進めました。
- (6)地域交流センターについては、湯山安立の今後の新規事業での活用について検討中であり、入居者の社会参加の場としての検討は一旦中止しています。

2. 職員の資質向上とやりがいを感じられる業務体制の構築

- (1)職員各自の目標に関連する研修を常勤も非常勤も受講しました。全体会議の中で伝達研修を行いました。介護力向上講習会には昨年度と違う職員を参加させることで、知識の周知を図りました。
- (2)介護力向上委員による理論を学ぶ研修については、項目ごとにミニテストを実施する月を決め、事前学習と理解度の確認を行いました。
- (3)自立支援介護のデータ収集を、介護力向上講習会の一覧表にまとめることで可視化することができ、毎月の委員会で進捗状況を確認し課題を検討することができました。また、毎月2名の入居者をピックアップし、週1回のカンファレンスでPDCAサイクルを回しケアに反映できることと理論に基づいた対策の検討が職員の知識向上につながっています。
- (4)回想法を毎週1回行い、入居者の発言から希望の外出支援につなげました。おやつ会、納涼祭や花見外出など季節を感じられる内容を心がけ、家族との連携を図り誕生日を祝う外出も実践しました。また、日々の様子や行事の写真でスライドショーを作成し、9月の敬老会で家族も含めて上映会をおこないました。欠席の家族には面会時に見ていただきました。

3. 安定した収入と適切な労働管理

- (1)入居者の介護度の見直しを行い、適切な介護度になりつつあります。現在は平均介護度が1.48です。入院日数は139日、空床は7日、平均稼働率は98.7%で目標を達成しました。
退居後の新入居までの空床日数の減少を目標に外部との調整に努めました。
- (2)パンフレットを更新し、市内及び近隣市町村の居宅介護支援事業所等への営業活動を実施し、紹介していただくことも増えています。施設のホームページを事務局にて作成していただきブログの更新に努めています。申込者が閲覧していることも確認できました。
- (3)無駄の削減と均等な業務分担への改善を検討しましたが少人数の施設では限界がありました。そのため日々の事務的作業も業務というとらえ方により、朝礼で事務作業の確認と協力体制の確保を実施しました。また、就業後30分以内の業務終了の声掛けを行うことで職員の意識も少しづつ変化し、超過勤務の削減につながりました。

4. 事業継続管理の推進

- (1)災害時のBCPに沿って法人全体の避難訓練を実施し、適宜修正をしています。また、コロナに関するBCPも修正し、勉強会と訓練を実施しました。
- (2)『頻度の少ない業務』は他施設のものも参考にまとめました。
- (3)事業継続に関しては別途検討委員会で検討し、次年度につなげていきます。

(1) 令和5年度利用状況一覧

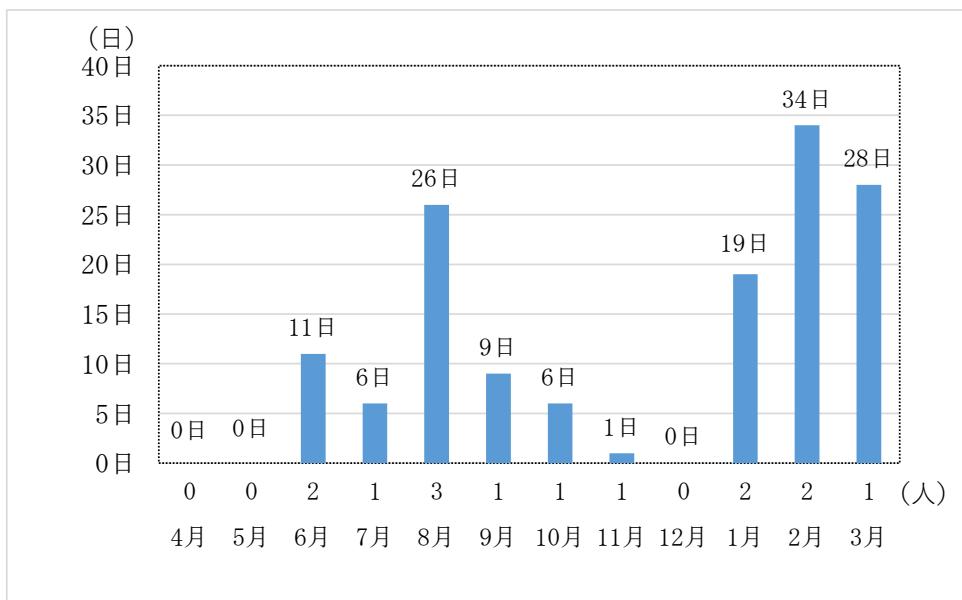
定員30名

区分	入居			退居					次年度繰越
	前年繰越	本年入所	計	家庭復帰	入院	他施設	死亡	計	
男	7	1	8	0	0	0	0	0	8
女	23	2	25	0	0	0	3	3	22
計	30	3	33	0	0	0	0	0	30

月別	初日在籍員	充足率 (補助金)	月日数	延べ人員	特定入居者 月間のべ利用者数	稼働率	備考
4	30	100%	30	900	900	100.0%	
5	30	100%	31	930	930	100.0%	
6	30	100%	30	889	889	98.8%	
7	30	100%	31	924	924	99.4%	
8	30	100%	31	904	904	97.2%	
9	30	100%	30	888	888	98.7%	1名退居 1名入居
10	30	100%	31	924	924	99.4%	
11	30	100%	30	896	896	99.6%	1名退居
12	30	100%	31	930	930	100.0%	1名入居
1	30	100%	31	911	911	98.0%	
2	30	100%	29	835	835	96.0%	1名退居
3	30	100%	31	902	902	97.0%	1名入居
合計	360		366	10,833	10,833		3名入居 3名退居
平均	30.000	100.0%		902.8	902.8	98.7%	

(2) 入居者の状況

①各月の延べ入院者数及び延べ入院日数



②疾患別入院状況

	内科系		精神科	その他	外科系	合計
	脳梗塞	肺炎・誤嚥性肺炎	認知症	白内障手術 脱水 蜂窩織炎	大腿骨骨折	
延人数	1人	2人	1人	5人	1人	10人
延べ日数	5日	18日	71日	38日	7日	139日

* 精神科入院：暴言や被害妄想の症状が顕著にみられ、血管性認知症との診断で長期入院となった。内服治療で症状が緩和され現在は施設に戻られ比較的落ち着いて過ごされている。

* 施設での看取り：2名

今後も看取りの体制を整え、ターミナルケアに取り組んでいきたい。

③内服薬の変化

令和5年4月から令和6年3月までの変化(入退居による自然変化も含む)

	〈R5.4月〉	〈R6.3月〉	
下剤服用者	8名/30名	⇒ 6名/30名	(前年比2名減)
睡眠導入剤	5名/30名	⇒ 5名/30名	(変化なし)
利尿剤	10名/30名	⇒ 9名/30名	(1名減)

* 下剤服用者についてはR3年度は19名であったがR5年度は6名となり、2年間13名減となった。引き続き下剤服用者ゼロを目指し、水分・歩行・排泄・食事など自立支援介護に取り組んでいきたい。

④水分摂取の状況

〈令和5年度の1日の平均値と令和4年度との比較〉

	R5年度			R4年度
	最小値 (m 1)	最大値 (m 1)	平均値 (m 1) (昨年差)	平均値 (m 1)
4月	1264	2570	1746(+478)	1268
5月	1200	2507	1720(+260)	1460
6月	1192	2508	1730(+225)	1475
7月	1438	2508	1868(+238)	1630
8月	1139	2521	1764(+165)	1599
9月	1111	2302	1793(+123)	1670
10月	1108	2630	1893(+273)	1620
11月	607	2704	1917(+320)	1597
12月	1460	2712	1886(+398)	1488
1月	1235	2533	1801(+182)	1619
2月	1166	2665	1775(+43)	1732
3月	1125	2544	1701(-116)	1817

- ・令和5年度は水分摂取量が昨年度に比べ、月平均225m l 増加した。
- ・毎月の介護力向上委員会において全入居者の日々の水分量を確認し、目標値に達しない方について検討した。容器の変更や声掛けの仕方、飲み物の嗜好を家族に確認しご協力いただいた。

⑤歩行の状況

- ・施設内は狭いため、活動量を増やすための歩行は可能な限り屋外歩行の機会を設けることとした。
- ・近所の商店にたい焼きやパンやお菓子などを買いに行くときも歩いていくことを基本とし、ついでに周辺の散歩もを行い、200m～1,500mぐらいの距離となっている。目的のある歩行を意識するように努めた。
- ・ご家族に協力していただき、自宅で飼っている犬を連れてきてもらい一緒に散歩をする機会も設けた。
- ・長距離歩行が難しい方や、天候が悪くて外出しづらい場合は3階のベランダ歩行や館内の階段昇降を促して歩行の機会を増やした。
- ・歩行が日課になるように、スタンプカードを作成し、歩行後にスタンプを押して頑張ったことを可視化できるようにした。
- ・身体状況の変化により歩行状態が悪くなった入居者に対しては、補助具を検討しながら少しでも歩く機会を設けるよう努めた。

⑥給食の状況

〈提供方法〉

大仙産業株式会社によるセントラルキッチン方式であり、クックチルを導入し提供している。

嗜好調査を行ない、その結果を基にアレルギーや嗜好にも対応し、代替え食も提供している。副食の形態にはムース食やミキサー食があり状態に合わせて提供可能である。

主食は各フロアで炊いており、粥食も提供可能であり、軟飯なども臨機応変に調整できている。週2回は朝食でパンを提供しているが、ご飯の選択も可能。イベント食では、10月に好きなお寿司を選んで昼食で食べたり、1月におでんと一緒に調理して昼食で食べた。おやつ会なども実施している。週2回バナナを提供していたが、別の果物の要望があった為、月1回みかん缶を提供している。

〈栄養計算〉

(令和5年度平均値)

	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	食塩 (g)
1日の平均値	1374	62.1	33.7	216.9	5.1

おやつは15時に提供（饅頭・クッキー・せんべいなど） 約80kcal/食

〈食事形態〉

(令和6年3月31日現在)

	普通食	普通食以外	備考
主食	29名	1名（粥）	フロアで調理
副食	29名	1名（刻み）	厨房内で刻む

(3) 年間行事実施状況

行事の内容	
4月	外出（いちご狩り）、おにぎり会
5月	外出（菖蒲園・バラ園散策）
6月	お抹茶会、水まんじゅうづくり
7月	七夕会、すいか割り、フルーツ寒天ゼリーづくり
8月	納涼祭
9月	敬老会（家族会兼ねる）
10月	運動会、外出（渡し場祭り・地域の祭り・福祉祭り） アニマルセラピー
11月	外出（菊人形、彼岸花見物、スシロー）、蒸しケーキ作り
12月	クリスマス会
1月	書初め、初詣、もちつき、おでんイベント
2月	節分会
3月	お花見（専修坊、神社）外出（コメダ、スシロー、いちご狩り）

(4) 月間予定表

月	火	水	木	金	土	日
非常連絡訓練	訪問理美容					かもめ会 清掃
		事故防止 委員会	往診	往診	おやつ会	回想法
オムツ注文 日用品購入			訪問歯科			
往診		防災・感染 症委員会				回想法
		誕生日会				
運営会議				回想法 委員会 3階フロア 会議		回想法
オムツ注文 日用品購入			訪問歯科			
2階フロア会議	介護力 向上 講習会			介護力向上 委員会		回想法

※身体拘束適正化委員会は、事故防止委員会の中に含む。

(5) 地域交流事業

令和5年度のハチドリチャレンジ参加状況：全職員中19人が1回以上参加した

* ハチドリチャレンジとは、社会貢献活動の一環として、法人内の全職員がボランティア活動に年1回以上の参加を目指すこと

〈参加したボランティア活動の内容〉

- 渡し場かもめ会の海岸清掃活動 毎月第1日曜日 8:00~9:00
- 渡し場かもめ会の渡し場祭り手伝い 年1回
- 小学校通学路の立哨活動および施設周辺のゴミ拾い 不定期(月1~2回実施) 7:30~8:15
- 認知症カフェの運営補助 年10回日曜日 12:00~14:30
- 各自の町内の草刈りやゴミ拾い活動 隨時
- 高浜市が開催するフードドライブに参加 年3回
- 翼まち協街路美化活動参加 年2回
- 翼まち協園遊会のたません作り手伝い 年1回
- 家庭での不用品を集めて回収している事業所に寄付するもったいないボランティアプロジェクトに参加 年2回
- 特別養護老人ホーム高浜安立荘の30周年記念パーティー手伝い 年1回



もったいないボランティアプロジェクトで集まった品々



アルミ缶を回収し翼小学校に提供

(6) 会議及び委員会報告

〈運営会議〉

施設長会議などの施設運営に関する情報共有及び経営上の課題について話し合った。労働安全衛生に係る意見聴取、毎月の行事や業務改善の進捗を確認。入退去検討委員会も兼ねており、待機者状況や入居予定者の情報共有を図った。

稼動率の確認や収支状況を報告。各委員会の内容を報告し、職員の状況や研修予定なども周知した。

〈事故防止委員会〉

毎月の事故及びヒヤリハット報告書の集計を基に重大事故や繰り返し起きている事故の対策を再検討した。同様にリスクのある入居者に見当を付け事故防止を図った。事故とヒヤリの判断基準を見直した。

〈身体拘束適正化委員会（虐待防止委員会）〉

年4回開催。身体拘束の必要な入居者はいないが、身体拘束につながる事例がないかを適宜確認している。また、虐待に関しても、自らの対応を振り返り自己チェックをおこなった。対応困難なケースについて話し合い、施設内研修の内容を検討した。

〈感染症対策委員会〉

年4回開催。新型コロナウィルスへの対応策を検討しBCPの見直しをおこなった。面会方法を感染状況に合わせて変更したりワクチン接種への対応も検討した。年間の施設内研修についても話し合い、マニュアル等の見直しもおこなった。

〈防災委員会〉

年4回開催。法人の災害対策委員会の報告と災害時のBCPの内容について見直しをした。行政と共同で福祉避難所開設模擬訓練を実施した。これをもとに福祉避難所マニュアルを見直した。B72カードゲーム（災害発生後3日間、72時間を想定したもの）を実施し、各職員が災害をイメージできるよう努めた。次年度は地域住民参加のもと、福祉避難所開設模擬訓練も実施していく予定である。

〈介護力向上委員会〉

毎月の講習会の内容を伝え、知識習得のための勉強会について話し合った。施設全体の状況を確認し困難事例についても話し合った。

〈フロア会議〉

毎月開催。2階、3階フロアごとに情報共有と運営に関すること、入居者の対応について検討。

〈全体会議〉

年3回開催。施設の運営状況や経営状況の伝達および職員研修と種々の課題について検討。

(7) 職員研修状況

研修の時期	開催場所	内 容	対象職員	人数
9月15日 (WEB)	ビデオ研修	ケアハウス経営支援セミナー	施設長	1
9月27日 (WEB)	ビデオ研修	第1回愛知県介護保険指定事業所講習会	施設長・相談員	2
12月8日 (WEB)	ビデオ研修	日本福祉大学 2023年度提携社会福祉法人あり方ビジョン Vision⑤研修事業WG 第1回研修会 管理職・リーダーのための施設運営マネジメント	施設長	1
2月10日 (WEB)	ビデオ研修	災害時の緊急対応について～想定外を想定内にする～	施設長	1
2月28日 (WEB)	ビデオ研修	日本福祉大学 2023年度（第17回）提携社会福祉法人サミット 社会福祉法人が取り組む「福祉教育」について	介護員	1
3月5日 (WEB)	ビデオ研修	介護現場における生産性向上推進フォーラム	施設長	1
3月6日 (WEB)	ビデオ研修	日本福祉大学 2023年度提携社会福祉法人あり方ビジョン Vision⑤研修事業WG 第2回研修会 管理職・リーダーのための施設運営マネジメント	介護員	1
毎月第4火曜日 (WEB)	ビデオ研修	科学的介護実践講座 2023年度愛知県介護力向上講習会	介護員	2
5月10日～7月31日 (WEB)	ビデオ研修	令和5年度 介護施設における安全対策担当者養成研修	介護員	1
4月21日～7月31日 (WEB)	ビデオ研修	バーセルインデックス評価研修	看護員・介護員	10
6月12日～9月12日 (WEB)	ビデオ研修	対人援助職に効く心の免疫力を高めるワークショップ	介護員	1
7月3日～7月17日 (WEB)	ビデオ研修	高齢者が食べない理由はこれだ	栄養士	1
9月1日～12月1日 (WEB)	ビデオ研修	介護報酬改定対応研修	相談員・介護員	2
6月29日 (法人)	法音寺	初任者研修②	介護員	1
7月19日 (法人)	法音寺	エキスパート研修	介護員	1
7月24日 (法人)	法音寺	経営管理者研修 I	施設長	1
10月14日 (法人)	法音寺	社会福祉法人昭徳会 福祉セミナー「アートでつなぐ心の架け橋」	施設長・介護員	2
11月9日 (法人)	法音寺	看護員研修	看護員	1
5月12日 (内部)	ケアハウス湯山安立	自立支援・食中毒・急変時の対応	施設長・相談員・介護員/看護員・栄養士・調理員	9
8月18日・10月20日 (内部)	ケアハウス湯山安立	KYT研修	施設長・相談員・看護員・介護員	17
9月29日 (内部)	ケアハウス湯山安立	虐待防止・看取り・法令順守 防災（地震）への対応	施設長・相談員・介護員/看護員・栄養士・調理員	12
3月13日 (内部)	ケアハウス湯山安立	回想法・防災（火災）への対応 感染症	施設長・相談員・看護員・介護員・栄養士	10

(7) 職員研修状況

研修の時期	開催場所	内 容	対象職員	人数
7月5日（法人）	ケアハウス高浜安立	SDGs研修	介護員・看護員	2
9月26日（法人）	高浜市 いきいき広場	コーチング研修	介護員	1
11月21日（法人）	高浜市 いきいき広場	栄養士研修	栄養士	1
10月11日（法人）	高浜市 いきいき広場	4大認知症の理解と中核症状とBPSD の違いについて	介護員	1
8月31日（外部）	翼ふれあいプラザ	災害地で日常素材を活用した 応急物品づくりの実技講習	相談員	1
10月12日（外部）	刈谷市産業振興センター	ラインケアの基礎知識と 実践のポイント	介護員	1
10月25日（外部）	刈谷市産業振興センター	集団給食施設向け食品衛生責任者 再講習会	栄養士	1
1月29日（外部）	愛知県産業労働センター	2024 介護報酬セミナー	施設長・介護員	2

*新入職員への教育

(就業規則・個人情報保護・法令遵守・事故防止・感染予防・防災設備・記録等)

(8) 防災訓練実施状況

実施日	実施内容	対象者	参加人数
5月9日	通報訓練	職員	職員5名
10月16日	昭徳会合同地震想定 避難訓練 非常時緊急連絡訓練	職員 入居者	職員9名 入居者30名
10月16日	福祉避難所開設訓練	職員	職員9名
2月21日	火災訓練 夜間想定（職員参集伝達訓練）	職員	職員4名 職員18名
3月13日	防災・火災訓練 (机上訓練)	職員	職員10名

令和5年度は、高浜市と協働で「福祉避難所開設模擬訓練」を実施し準備が必要なことが明確となった。令和6年度は地域住民（町内会）と協働で開催予定である。

6. 令和5年度決算・令和6年度予算報告

<令和 5年度 収支決算書>

(単位 : 円)

収入の部		支出の部	
事業活動による収入	介護保険事業収入 79,711,650	事業活動による支出	人件費支出 78,714,398
	老人福祉事業収入 45,154,529 受取利息配当金収入 390 その他の収入 612,923		事業費支出 18,497,493 事務費支出 7,171,257 その他の支出 256,316
事業活動収入計 125,479,492		事業活動支出計 104,639,464	
施設整備等による収入	0	施設整備等による支出	固定資産取得支出 695,420
	施設整備等収入計 0		施設設備等支出計 695,420
その他の活動による収入	退職給付引当資産取崩収入 111,600	その他の活動による支出	拠点区分間長期借入金返済支出 5,000,000 退職給付引当資産支出 962,550
	その他の活動収入計 111,600		その他の活動支出計 5,962,550
前期末支払資金残金取崩額	0	当期資金収支差額	14,293,658
合計	125,591,092		125,591,092

<令和 6年度 収支予算書>

(単位 : 円)

収入の部		支出の部	
事業活動による収入	介護保険事業収入 79,057,000	事業活動による支出	人件費支出 81,804,000
	老人福祉事業収入 45,156,000 その他の収入 217,000		事業費支出 23,467,000 事務費支出 10,228,000 その他の支出 208,000
事業活動収入計 124,430,000		事業活動支出計 115,707,000	
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入 0	施設整備等による支出	固定資産取得支出 0
	施設整備等収入計 0		施設設備等支出計 0
その他の活動による収入	積立資産取崩収入 1,170,000	その他の活動による支出	積立資産支出 837,000 拠点区分間長期借入金返済支出 6,000,000 拠点区分間繰入金支出 0
	その他の活動収入計 1,170,000		その他の活動支出計 6,837,000
前期末支払資金残高	42,642,000	当期資金収支残高	予備費 1,106,000 44,592,000
合計	168,242,000		168,242,000

7. 令和6年度 事業計画

1. 事業運営基本計画（事業目標）

- (1) 「基本理念」等の実践による質の高い福祉サービスの提供
- (2) 職員の資質向上と職場環境改善
- (3) 安定した経営と適切な労務管理
- (4) 事業継続管理の推進

2. 具体的計画

- (1) 「基本理念」等の実践による質の高い福祉サービスの提供

- ①一昨年度実施した第三者評価におけるB評価項目の改善と入居者及びご家族への満足度調査の結果に対する改善に取り組む。
- ②『職員行動指針』の具体例を全職員が考案し、毎日一つずつ朝礼で唱和するとともに館内掲示により意識づけを図る。
- ③回想法及び自立支援介護の提供と評価について施設内外に報告する
- ④セントラルキッチン業者を交えた給食会議を定期的に開催することにより、食事提供のサービス向上を図る。嗜好調査を行い献立への反映を依頼したり、イベント食を開催する。
- ⑤入居者を交えた社会貢献活動を行う。(ハチドリチャレンジの継続)
- ⑥ホームページを活用し、ブログの更新による施設紹介やボランティアの募集をおこなう。

- (2) 職員の資質向上と職場環境改善

- ①法人内研修及び外部研修に参加し、施設内において伝達研修を実施する。
- ②自立支援介護の基本ケアについて施設内研修を開催する。講師は職員が行いミニテストなどで理解度を確認する。
- ③自立支援介護のデータ収集により自施設の状況を客観的に分析する力を持つと共に成果を家族会等で報告する。
- ④勤務時間を有効活用できるよう、オンデマンド研修なども業務に組み込んで受講を促す。
- ⑤5S活動を継続するため、改善計画を作成する。
- ⑥業務振り分けの見直しを行い、誰もが行える業務を増やす。
- ⑦ストレスチェック集団分析結果を活用し環境改善を図る。
- ⑧腰痛・転倒予防の体操を行い、休憩室の活用方法も検討して心身の健康管理に努める。

- (3) 安定した経営と適切な労務管理

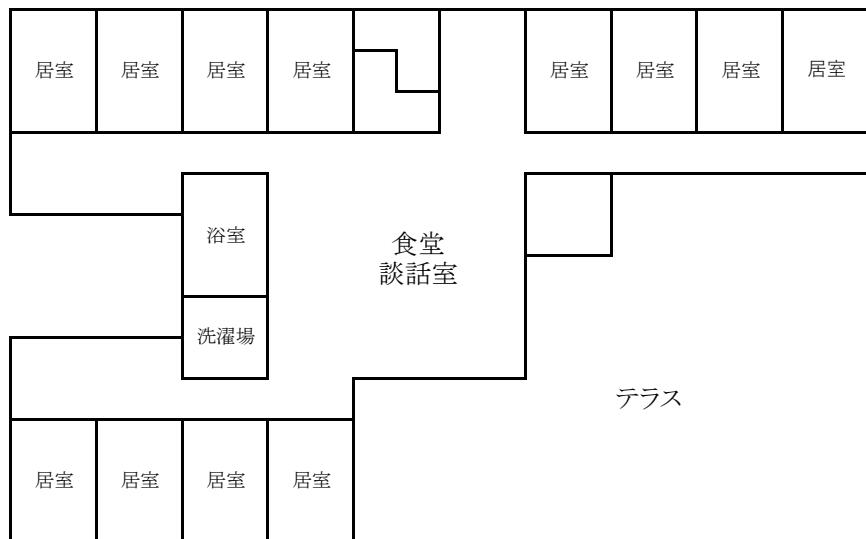
- ①平均介護度が1.6以下の状態であれば入院日数を減らし稼働率99%を目標とする。平均介護度が上昇すれば入院の可能性も増えるため稼働率97%を目標とする。
- ②コスト削減に努め事業費を17.4%、事務費を7.0%以内に抑える。
- ③業務改善により事務作業の時間を業務内に設けることで超過勤務を減らす。
- ④残業の多い職員の業務を見える化し、適正な業務振り分けを行う。

- (4) 事業継続管理の推進

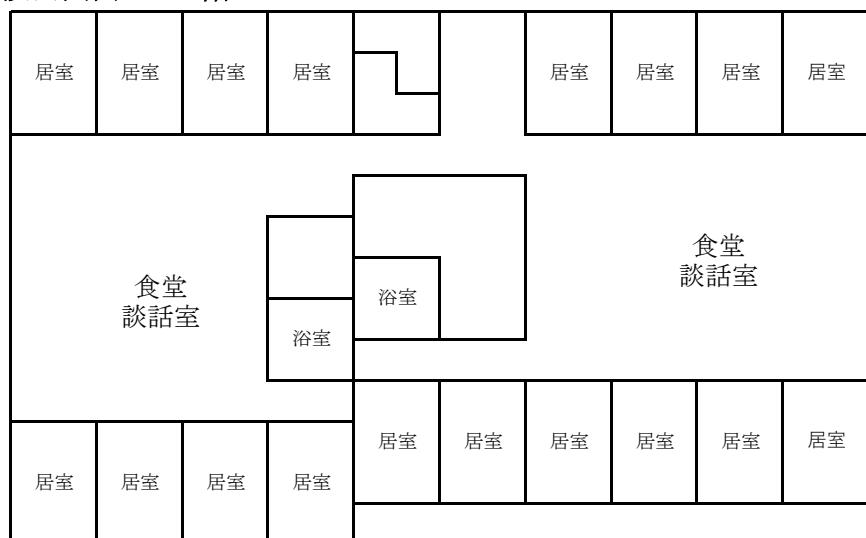
- ①計画的な防災訓練に合わせて災害時及び感染症まん延時の研修とBCPに沿った訓練を年4回実施する。
- ②『頻度の少ない業務一覧』を確認しながら、漏れの無いように管理していく。
- ③福祉避難所の開設訓練を行政や地域住民と協働実施する。
- ④高浜市との賃貸借契約の更新について事業継続可能な体制を検討する。

8. 施設内図面

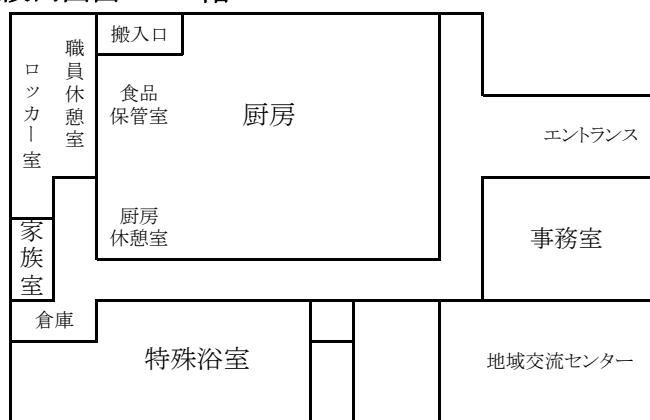
施設内図面 3階



施設内図面 2階



施設内図面 1階



9. アクセス

アクセスマップ



●お車にてお越しの場合

知多半島道路・南知多道路にて、阿久比 IC 下車→高浜方面へ→高浜市役所→

安城方面へ→スシロ一様の角を左折しすぐ右折で突き当たり中央公民館東交差点から約 300m を北へ(案内図参照)

●公共交通機関を利用してお越しの場合

名鉄三河線、三河高浜駅下車徒歩 15 分程度

ケアハウス湯山安立
高浜市湯山町 5-7-5

☎ 0566-54-5011